

## 平成19年度 新城こども文化センターの管理運営に対する評価について

### 1 指定管理者

(1) 指定管理者	財団法人かわさき市民活動センター
(2) 指定期間	平成18年4月1日～平成23年3月31日
(3) 業務の範囲	新城こども文化センターの管理運営に関すること 新城小学校・橘小学校わくわくプラザの管理運営に関すること

### 2 管理運営（事業執行）に対する評価

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導
(1) 管理業務の実施状況		
施設の運営に関する職員体制に関すること	①人的能力の充実を図るため職員の児童厚生員資格取得を進めると共に、新規採用職員は業務に関する資格取得者から選考しました。②本部の職員体制については管理係長1名、区運営担当主査を3名配置して各館との連携強化を図りました。	職員の業務に関する資格の取得を進めたこと、また本部職員の充実によりかわさき市民活動センターが管理運営している他のこども文化センターとの連携を図ったことは評価できる。職員の研修については、スケールメリットを生かし、大規模な研修を実施し、また、指定管理施設の各区、施設単位での研修も実施することにより職員のスキルアップを図っていたことは評価できる。今後もこども文化センター及びわくわくプラザの職員配置が適切に行われるよう努めること。
施設の管理運営に対するニーズ等の把握に関すること	こども文化センターにおいては運営協議会、利用者懇談会、意見箱、こども会議と館の利用者に直接聞き取りを行った。また、乳幼児の保護者からアンケートにより意見を聞くことができた。わくわくプラザにおいては保護者懇談会、こども会議、意見箱により意見、要望を聴いた。	継続的に利用者や地域住民からの意見・要望等を聞きニーズの把握に努めていたことは評価できる。意見箱の設置による意見集約を行ったことは、評価できる。
サービスの提供に関すること	こども文化センターにおいては地域の講師（ボランティアを含む）等により定期的に利用者ニーズに応えた行事を行った。こども会議においては館内での遊び方や、行って欲しい行事等について話し合った。わくわくプラザにおいてもこども会議での声を反映し、地域講師やスタッフによる行事を行った。	運営協議会やこども会議等を実施しサービスの提供を行っていた。また、ホームページの内容をより充実させていたことは評価できる。障害児については、障害児相談員を雇用し、必要に応じ職員の相談を行い障害児の対応を充実させていたことは評価できる。

事業の実施に関する こと	一般行事（わくわくプラザを含む）、子育て支援、中高生の居場所作りにおいては運営協議会、子ども会議等と協働し地域の特色を生かした事業を実施することができた。	運営協議会等との連携により地域のニーズに合った行事を実施したことは評価できる。集会室の壁画作成については、学生ボランティアの活用を図っていた。今後も、ボランティアの活用に努めること。
個人情報の取扱に関する こと	財団法人かわさき市民活動センター個人情報保護方針に基づき取り扱う。例えば書類はファイルに綴じ関係者以外の目に触れないように保管し、尚施錠できるところの活用も行う。入館表等の取扱方法や第三者提供の制限について職員に周知徹底をした。	個人情報の取扱については、概ね問題なく処理されている。
施設の安全管理に関する こと	毎日の清掃を行なう際に必ず施設の安全点検もあわせて行なっている。職員、保護者及び児童に安全確保にたいする自覚と意識を促した。学校、消防、警察等関係機関との連携を取っている。交番と連携を持ち月3回程度の巡回をお願いしている。	毎日の清掃や始業時の点検を行い、安全性に努めている。また、新城小学校わくわくプラザにセンサーライトを設置し、より安全性を高めていたことは評価できる。
(2) 利用状況		
①こども文化 センター	延べ利用者数 27,189人 延べ団体利用数 6,964団体 （主な行事等） ボール遊び センター祭り  （特色のある行事） 集会室リニューアル記念	地域の状況に合わせた特色ある行事の実施している。また、地域との連携を図り行事を実施していることは評価できる。行事の実施に当たっては、具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。
②わくわくプラザ	1 新城小学校わくわくプラザ 登録者数 360人 延べ利用者数 15,735人 （主な行事等） トランプ おたのしみ会  （特色のある行事） 野菜スタンプで葉書作り  2 橘小学校わくわくプラザ 登録者数 426人 延べ利用者数 21,935人 （主な行事等） けん玉 誘拐防犯教室  （特色のある行事） 理科教室	行事については、順調に実施されている。利用状況は具体的な数値目標等を設定し客観的な達成状況が分かるように心がけること。

評価項目	平成19年度管理運営の状況	評価及び指導																														
(3) 収支状況																																
① 収支状況	<p style="text-align: right;">(単位：円)</p> <table> <tr> <td>収入</td> <td>指定管理料</td> <td>49,916,842</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>人件費</td> <td>39,527,181</td> </tr> <tr> <td></td> <td>管理費</td> <td>3,193,890</td> </tr> <tr> <td></td> <td>事務経費</td> <td>1,937,847</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他経費</td> <td>1,436,042</td> </tr> <tr> <td></td> <td>青少年事業資産取得支出</td> <td>909,090</td> </tr> <tr> <td></td> <td>減価償却引当資産取得支出</td> <td>40,492</td> </tr> <tr> <td></td> <td>第1回精算に伴う返納金</td> <td>636,363</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>47,680,905</td> </tr> <tr> <td></td> <td>差引</td> <td>2,235,937</td> </tr> </table>	収入	指定管理料	49,916,842	支出	人件費	39,527,181		管理費	3,193,890		事務経費	1,937,847		その他経費	1,436,042		青少年事業資産取得支出	909,090		減価償却引当資産取得支出	40,492		第1回精算に伴う返納金	636,363		合計	47,680,905		差引	2,235,937	<p>事業実施後指定管理料の残額を戻入しており指定管理料の範囲内で事業の実施を行っている。今後は収支のバランスを考慮しつつ、事業をより充実させるため適切な経費の執行を図ること。</p>
収入	指定管理料	49,916,842																														
支出	人件費	39,527,181																														
	管理費	3,193,890																														
	事務経費	1,937,847																														
	その他経費	1,436,042																														
	青少年事業資産取得支出	909,090																														
	減価償却引当資産取得支出	40,492																														
	第1回精算に伴う返納金	636,363																														
	合計	47,680,905																														
	差引	2,235,937																														

### 3 管理運営（事業執行）に対する全体的な評価

指定管理以前から委託事業者としてこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を生かし、また、全市58施設の内55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、施設ごとに偏りの無いサービスの提供を行っており、区ごとのこども文化センター合同行事の実施や全市規模の行事の実施を行っていた。行事の実施についても施設ごとに特色ある行事を実施していることは評価できる。また、各施設を統括する本部職員を配置することにより、他のこども文化センターと連携を図り管理運営を行っていたことは評価できる。

55施設の指定管理者としてのスケールメリットを生かし、安定した経営を行っていたことは評価できる。

### 4 来年度の管理運営（事業執行）に対する指導事項等

次年度も引き続き55施設の指定管理者として安定した経営、他施設と連携した行事等スケールメリットを生かした管理運営を実施すること。事業の実施に当たっては運営協議会を始め地域と連携し、より一層地域の状況に合わせた特色ある行事の実施等を行うこと、また目標利用者数を設定する等具体的な数値目標を設定し客観的に事業の達成状況が分かるようにすること。